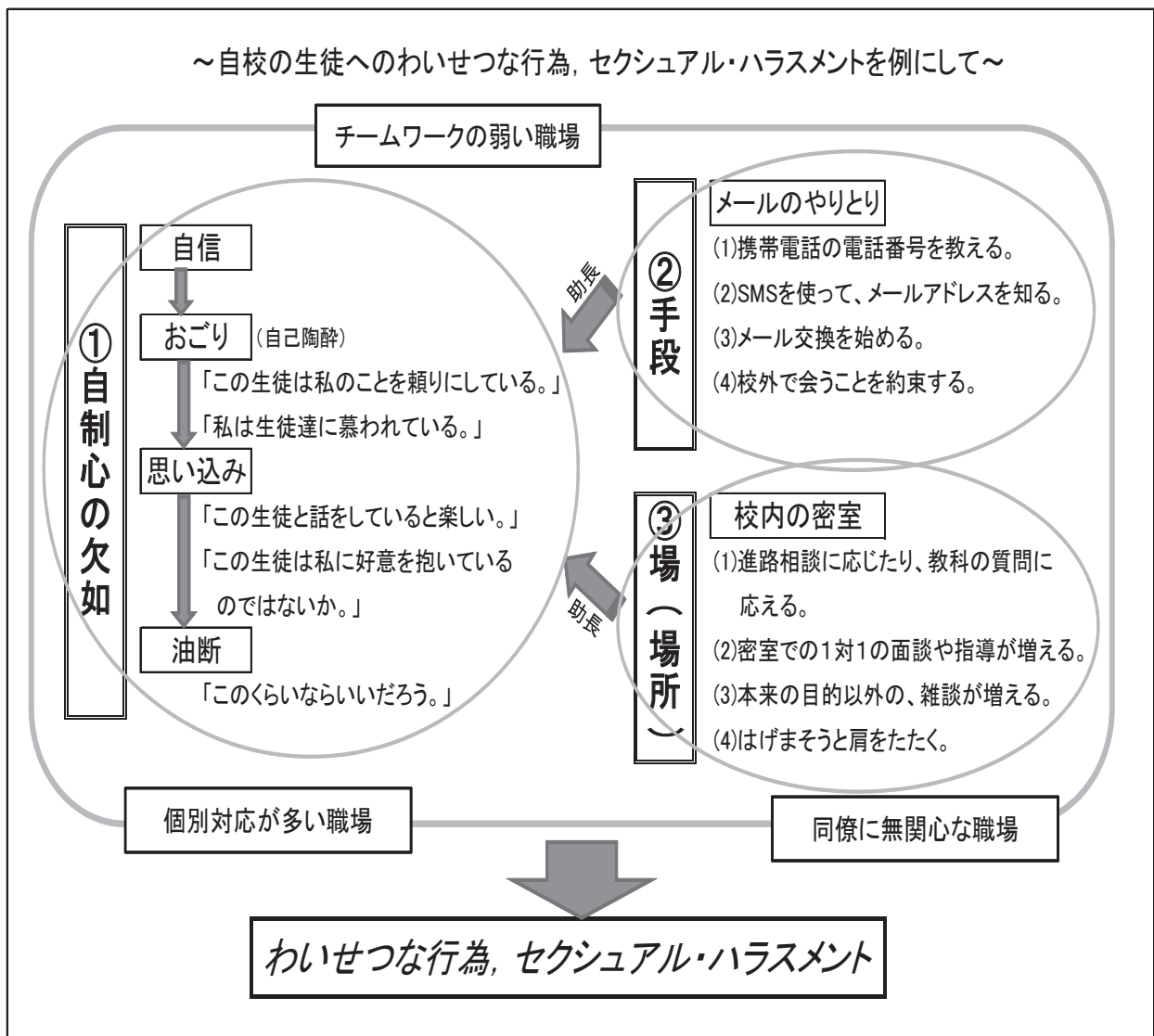


# 1 不祥事防止に向けて

## I 不祥事発生の背景の分析と不祥事防止への取組

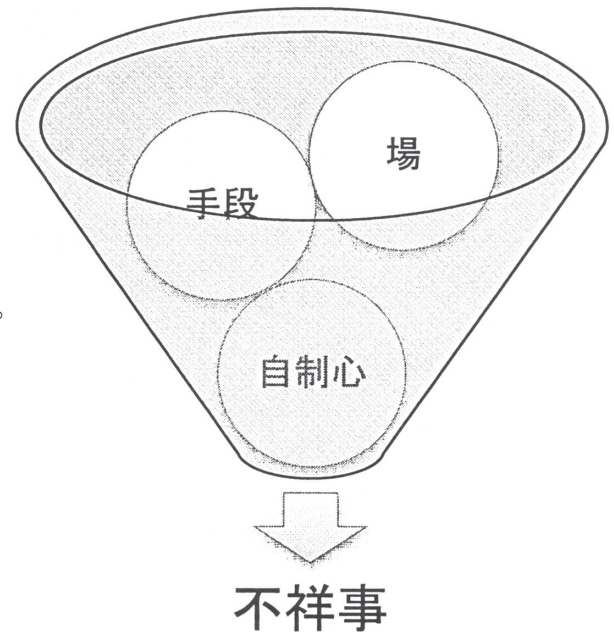
下の図は、生徒に対するわいせつな行為に係る不祥事の発生要因を整理したものです。

①自制心の欠如、②手段、③場 が揃うことで、不祥事発生につながると分析しています。



基本的に、自制心が働けば、不祥事が起こることはありません。

ところが、「手段」と「場」が揃うことが、「自制心の欠如」を助長してしまっているのです。



※「手段」と「場」が揃うとは？

P1の図において、不祥事を起こした人の言い訳を考えてみましょう。

「あのとき、メールがなければ」とか、

「あのとき、密室に行かなければ」といった発言が出てきます。

まさに、「手段」と「場」が揃って、自制心が欠如したことが分かります。

(「手段」又は「場」のどちらかだけの場合もあります。)

ここでは、不祥事を防止するために、グループで協議をするなどし、次のことに取り組んでみましょう。

- 1 「自制心の欠如」「手段」「場」の3つの観点から、不祥事発生を背景を分析する。
- 2 1の分析を踏まえて、不祥事防止に向けて、「どのように意識改革を図っていくのか。」  
「どのような仕組みを作っていくのか。」を考える。